

パラアート (障がい者アート)

国際交流活動事業

公財) 日本チャリティ協会

〒160-002 東京都新宿区新宿 1-18-12 柳田ビル 3階

助成事業の概要

目的：当協会が活動してきた「パラアート」障がい者アートを国連で2015年に採択された全世界の共通目標、SDGsの3, 10, 16, 17項目を照らし合せた持続可能な開発の概念での発展を目指し、アクセシビリティを意図したWEBの活用と作品を通じた人の交流により、障害者の芸術文化の環境整備と活動支援をして共存共栄の社会に向け支援していきます。

対象：障害児及び障害者

期間：2023年5月～2024年1月

具体的内容：

主体事業 「2023パラアートTOKYO」第10回国際交流展の開催

障害者(児)のアート作品を集め専門家による選考を通じ、障害特性に応じた質の高いパラアート作品を発表展示して、芸術文化価値の認識を拡げます。賞を設けて制作活動を奨励します。

(開催時期) 令和5年12月20日～24日(会期5日間)

(開催場所) 東京芸術劇場ギャラリー

連動事業(1) WEBの活用の工夫

周知の拡大と「パラアートバーチャルギャラリー」(WEB連動型展覧会)の設営

(2)パラアートワークショップ(講習)開催 対象 障害者、障害児、児童、健常者

会場での講習とともにITを利用したリモート対応専門員によるワークショップでは交流、共感、向上と認識を高める学びの機会を提供

事業の成果

第10回目を迎える「2023パラアートTOKYO」国際交流展の開催は障害者(障害児)の方々の日常活動の維持に役立つと同時に、人の交流を深め、障害理解を促進させ多様な社会へ向けていくことができます。

本活動を通じたアート作品の芸術的価値の認識向上は、収益に繋がり障害者の自立を助長し、入選作品、入賞作品を組織や企業のCSR事業と繋げ、SDGsの普及に役立てます。

WEBの活用は障害者(障害児)の活動範囲を拡げ、スマホやSNSを日常に使用する若い親世代にも受けやすくし周知の拡大と参加を促すことができます。

インターネット上に2023バーチャルギャラリーを開設し、世界へ発信し、外国の出展者や会期中に来場できない方々へ公開を行い全作品の鑑賞ができるよう継続掲載し、多くの方々にパラアート作品の魅力を伝えることができます。

作品を架け橋に東京から発信し世界とリンクさせて国際的交流につなげます。

「2023パラアートTOKYO」第10回国際交流展
(開催日時) 令和5年12月20日(水)～24日(日) 会期5日間 10時～18時

(開催場所) 東京芸術劇場 ギャラリー1

(来場者数) 延べ 1,277人

(作品展示) 237点(応募数860点、国内より566点、外国は主に団体推薦)

絵画作品 日本150点 海外59点 書作品 日本20点 韓国8点(書画含)

(参加国) 23か国1地域(香港)

アンケートからも、作品の魅力、称賛、活動に対する激励等障害者アートへの関心を寄せられ、多くの方が事業の継続を希望していました。

2023パラアートTOKYO国際交流事業の一環として、多様な社会へ向け誰もが参加できるワークショップを12月23日芸術劇場ギャラリー2において開催いたしました。

ワークショップやインスタグラムでの講習は活動環境を提供し、専門員によるワークショップでは向上、共感、交流、と認識を高める学びの機会を通し、社会との接点を見出し共存共生の社会へ繋げることが出来ます。

<報告記録> 別添

図録 2023パラアート事業報告も兼ねて1月末完成 400冊

出展者、助成、後援、協力他関係者に配布

成果の広報・公表

<「2023パラアートTOKYO」第10回国際交流展広報等>

1.日本チャリティ協会ホームページ、2023パラアートギャラリー新設掲載

・全出品作品等の紹介、広報活動

2.日本チャリティ協会広報誌「チャリティ・ニュース・クォーターリー」配付

・国際交流展の開催概要掲載による広報活動
(発行部数：1,200部)

3.国際交流展報告書(図録)作成

・国際交流展図録送付による関係諸団体等への広報活動(発行部数：400部)

4.国際交流展の新聞掲載等

・アデランスの朝日新聞広報において、パラアート活動の紹介

・大阪毎日放送のパラアーティストのテレビ取材

5.「三井住友アセットマネジメント株式会社」

でのパラアート賞受賞や優秀作品の展示

・社内ギャラリーでの展示及び広報活動

期日：令和5年12月26日(火)～令和6年1月12日(金)

今後の展開

多様な社会へ向けての障害者、障害児の社会参加へはサステナブルな芸術活動支援が必要とされています。

今後も障害のある方が芸術文化活動を通じて自己を表現し、社会とより広く関わりを持ち、その自立と社会参加を継続支援して、障害の有無に関わらず、お互いを尊重しながら共存共生の社会へ向けていくコンセプトで開催いたします。

WEBの活用を広げてSNSやインスタグラムを通じ多くの方々に周知や参加する機会を増やし、生活文化としての認知、また、芸術作品としての価値の認識、障害者の自立に向けた取り組みとして作者の収益を計り、希望者には即売の機会を作ります。

障害者の収益事業に繋げる機会を作ります。
国際交流事業(「2023パラアートTOKYO(仮称)」国際交流展)の開催
会期：2023年12月予定[5日間]
場所：芸術劇場ギャラリー